

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きを短くまとめて紹介します



ニューヨーク事務所

新たな友好都市が誕生

ー栃木県益子町がオハイオ州ダブリン市と友好都市提携ー

12月13日から16日まで、益子焼で有名な栃木県益子町の訪問団（団長：大塚朋之町長）がオハイオ州ダブリン市を訪れ、新たに友好都市提携を締結しました。調印式では、ダブリン市の子どもたちが両自治体の交流の契機となった和太鼓を演奏し、会場に華を添えました。両自治体は、今後文化や教育などさまざまな分野での交流を深める予定です。



祝・姉妹友好都市提携 20 周年

ー青森県むつ市がポートエンジェルズ市訪問ー

1月6日から10日まで、青森県むつ市の訪問団（団長：宮下宗一郎市長）が、姉妹友好都市 20 周年を記念し、ワシントン州ポートエンジェルズ市を訪れ、郷土の魅力発信と次世代への伝統継承を盛り込んだ「将来のまちづくり共同宣言」に調印しました。むつ市内の中学生 15 名がジュニア大使として参加し、現地中学生にけん玉・お手玉・習字といった日本文化を紹介するなど、活発な交流を行いました。



ソウル事務所

雪の青森、漫画家ホ・ヨンマン氏を魅了！！

1月27日から31日まで、クレアソウルと青森県の招聘により、韓国の著名漫画家であるホ・ヨンマン氏をはじめ、韓国国内で有名な旅行作家やコラムニストで構成された取材団が、青森県の各地を取材しました。

太宰治記念館「斜陽館」や津軽鉄道のストーブ列車、八甲田山の樹氷などを取材し、美しい自然と伝統文化の残る青森県の景観に、取材団は大いに感銘を受けたようでした。取材結果は、韓国で毎月10万部発行される月刊誌「WOMAN SENSE」などに掲載され、韓国国内で広く PR される予定です。

今後、青森県を訪れる韓国人観光客のさらなる増加が期待されます。



北京事務所

鹿児島県の次代を担うビジネスリーダー達が、北京へ

1月21日から23日にかけて、鹿児島県の企業経営者ら27名が、「鹿児島ビジネスニューリーダー育成事業」の一環として北京を訪れました。これは、鹿児島県と清華大学とのMOUに基づく交流促進事業のひとつで、今回は清華大学での講義受講や企業視察などの研修が行われました。両者は、学術、文化、人材育成等の分野でも交流を進めており、今後ますますの関係深化が期待されます。



ロンドン事務所

「和食に合う」甲州ワインの試飲会が開催されました

2月2日、ロンドンで甲州ワイン EU 輸出促進協議会による甲州ワインの試飲会が開催されました。2010年以降、和食に合うワインとしてロンドンを中心に販路拡大の取り組みを行っている甲州ワイン。ロンドンだけでなく、2015年はスウェーデン、2016年はベルギーでもプロモーション活動を行い、裾野を広げています。



JET プログラム事業部

「JET 参加者の震災経験～東日本大震災から 5 年～」を開催します！

CLAIR および仙台市の共催で東日本大震災（平成 23 年 3 月 11 日）発生当時に東北で任用されていた JET 参加者によるパネルディスカッションおよび震災で亡くなった JET 参加者のドキュメンタリー映画「夢を生きるテイラー・アンダーソン物語」の上映を行うイベントを実施します。

JET 参加者をはじめ、多くの方に参加してもらいたいと考えておりますので、広く周知をお願いします。

日 時：平成 28 年 3 月 13 日（日）13：00～17：00

場 所：せんだいメディアテーク 1 階オープンスクエア

申込み：311shinsai.jet@gmail.com 宛に、氏名、連絡先を記入の上、送信してください。



シドニー事務所

オーストラリアから学ぶ多文化共生の実践

全住民の約 4 分の 1 が海外生まれというオーストラリアでは、多文化主義が広く社会に浸透しています。シドニー事務所では昨年 10 月 26～31 日に自治体、国際関係機関職員等を対象に、多文化共生施策を学ぶセミナーを実施しました。セミナー参加者は、行政機関、NPO など計 9 箇所を訪問し、それぞれの移民や難民、文化的・言語的に多様な背景を有する方々との連携方法や支援方策などを学びました。

それぞれの訪問先の取り組みなどは、各参加者がレポートをまとめており、今後の日本における多文化共生施策の推進の一助となることが期待されます。

詳しくは、クレアシドニー事務所ホームページ掲載中の「オーストラリア多文化主義政策交流プログラム 2015 報告書」をご覧ください。



シンガポール事務所

「Japan Travel Fair 2015 Autumn & Winter」で訪日観光を PR

11 月 20 日～23 日にジャカルタのショッピングモールにおいて訪日旅行博が開催され、約 5 万 7 千人が来場しました。日本政府観光局と連携して訪日観光を PRするとともに、来場者からの質問等に応じたところ、桜や雪など自国では経験できないことや、日本特有の文化体験を求める傾向が強いほか、家族旅行を検討している来場者が多く見受けられました。



パリ事務所

「ARITA 400project」パリのデザイン見本市に出展

有田焼の海外販路開拓に取り組む佐賀県が、1 月 22 日から 26 日までパリ近郊で開催された欧州最大級のインテリア・デザイン見本市「メゾン・エ・オブジェ」に出展しました。昨年 9 月に続き、会場最前列に設置した 200m² のブースに県内 8 社が作品を展示。今回は、有田焼誕生 400 年を記念した、奥山清行氏、北野武氏、隈研吾氏、佐藤可士和氏とのコラボレーション作品も発表し、有田焼が誇る高いデザイン性が注目を集めました。



企画調査課

「自治体の国際化」について大学生に出張講義

12 月から 1 月にかけて、流通経済大学、首都大学東京、武蔵野大学において「自治体の国際化」についての出張講義を行いました。受講者からは「自治体レベルで国際化が行われているということを知って驚いた」、「インバウンドにはさまざまな視点や考え方が必要であると分かった」などの声があがり、自治体やクレアの活動を PR する良い機会となりました。



多文化共生課

「平成 28 年度 第 1 回 多文化共生マネージャー養成コース」受講者募集！

自治体職員、地域国際化協会および市区町村国際交流協会などの職員を対象に、全国市町村国際文化研修所（JIAM）において、外国人住民に関わる諸制度や諸課題について理解を深め、地域における多文化共生の推進に対応できる人材の育成を目的とした研修を実施します。

研修期間は平成 28 年 5 月 9 日～13 日、6 月 27 日～7 月 1 日の計 10 日間であり、3 月 1 日（火）から 3 月 29 日（火）まで申込を受け付けています。詳細は JIAM の HP (<http://www.jiam.jp/index.html>) をご覧いただくか、JIAM 教務部・調査研究部（Tel：077-578-5932）までお問い合わせください。

「多言語生活情報」にミャンマー語が仲間入りしました！

外国人の方々が日本で生活する上で役立つ情報を提供している「多言語生活情報」のホームページ版に、新たにミャンマー語が仲間入りしました。これにより 15 カ国語（やさしいにほんごを含む）での提供となります。日常生活で役立つごみの出し方から在留資格制度まで、幅広い分野の情報を分かりやすく丁寧に説明していますので是非ご利用ください。

なお、ミャンマー語はスマートフォンアプリでの提供はありません。

多言語生活情報：<http://www.clair.or.jp/tagengo/index.html>